

～企業との協働による森林づくり～ 「じゅうろくの森“みたけ”」で森林づくり活動を実施しました

当行は、県が推進する「企業との協働による森林づくり」の一環で、2017年に、御嵩町および県との間で「じゅうろくの森“みたけ”」における森林づくり協定を締結しており、2019年5月29日、この協定に基づく森林づくり活動を実施しました。

「じゅうろくの森“みたけ”」は、御嵩町内の森林6.71ヘクタールを協定面積とし、協定期間2017年9月27日から2023年3月31日までの5年間、森林整備や環境学習を行っています。

今回は、当行の今年度新入社員52名が参加し、業務研修だけでなく、社会人としての基礎力や人間的な成長も含めた3ヶ月間の研修の一環で、御嵩町内にて環境学習を実施しました。

環境モデル都市に選定されている御嵩町の職員から環境への取組みについての講義を受け、地元で伐採された木を使い、鳥の巣箱を製作しました。新入行員は楽しみながらも巣箱作りの実践を通じて、環境保全に取り組む大切さを学びました。

完成した鳥の巣箱は、今後「じゅうろくの森“みたけ”」に設置される予定です。

当行は引き続き環境学習や間伐などを行い、協働による森林づくりに力を注いでいきます。

【御嵩町による講義の様子】



【鳥の巣箱製作の様子】



○「じゅうろくの森“みたけ”」の概要

場所	御嵩町中切地内他（御嵩町有林）
面積	6.71ヘクタール
森の名前	じゅうろくの森“みたけ”
協定期間	2017年9月27日～2023年3月31日
活動内容	森林整備（植栽、下刈り、除・間伐など） 遊歩道整備、環境学習（自然観察会等）等

森林づくりには大きく「植樹」と「間伐」の2種類があります。

「じゅうろくの森“みたけ”」では、「間伐」により森林の密度を調節し、林内に陽光が差し込むことで残った樹木の成長や根の発達が促進され風雪害に強い森林をつくること、ならびに多様な動植物の生息・育成が可能となる森林づくりを行っています。

以上